

中野市働く婦人の家運営委員会会議録

名称	中野市働く婦人の家運営委員会
担当課	働く婦人の家
日時	平成21年9月28日(月)午後6時01分～午後7時17分
場所	働く婦人の家1階 教養室1
出席者	(委員) 清水委員、上原委員、尾坂委員、小野委員、早川委員、山本委員、丸山委員 以上7名 (館側) 丸山館長、丸山副館長、小菅指導員 以上3名
欠席者	なし
会議資料	会議次第、業務概要、条例(写し)、規則(写し)、婦人の家だより他
決定事項	・互選による会長及び会長指名による会長代理の選出・・・決定 ・平成20年度事業実施状況について・・・承認 ・平成21年度事業について・・・承認
会議内容	協議事項1 平成20年度事業実施状況について 資料に基づき説明(副館長) 全員承認 協議事項2 平成21年度事業について 資料に基づき説明(副館長) 全員承認 協議事項3 その他(避難訓練実施状況・フェスティバル計画) 資料に基づき説明(副館長) 全員承認

質 疑

(委員) H21 前期の家庭介護講座の状況はどうか。

(副館長) ヘルパー資格の取得を目的に当初立案したが、予算等の関係で介護の基本知識や制度また初歩の実技と考え初めて計画した。募集をしたところ定員20名に対して受講者は6名でした。4回コース中2回は社会福祉協議会及び健康長寿課による学科、2回は専門看護師によるシーツ交換等行った。受講者数は少なかったが受講生からは好評と感じた。

(委員) 後期講座に家庭介護は計画されないのか。

(副館長) 前期の受講希望者は少なかったので、実施内容の精査また講師の確保の検討等時間を要した。今後検討したい。

(委員) 家庭介護で悩んでいる方もあるため「悩みを聞く会」があればいいのではないのか。

(館長) 重要な課題でもあり検討していきたい。

(委員) 誰が講座を計画するのか。

(副館長) 以前は講座終了後にアンケートを行い市民のニーズに近づきたいと考えていたが、現在は主に当館職員で立案している。

(委員) 利用者数のその他欄は男性も含んでいると説明あったが、男性も館を利用しているのか。

(副館長) サークル活動の中で夫婦ともに参加している方もいる。

(委員) 昨年名称のアンケートを書いたことがあったがどうなったか。

(副館長) 昨年の委員会で今後さらに検討していくとした。

(委員) 美肌メイク講座は女性の心を掴んでおりとてもよいと感じる。

(委員) 講座は募集定員に達しているのか。

(副館長) 定員になる講座とならない講座がある。最少は6名であり今年度は中止になった講座はない。

(委員) 定員オーバーは、キャンセル待ちか。

(副館長) そうです。なお、後期講座の申込みは10月9日(金)午後7時から始まる。

(委員) 陶芸講座は前期にあるが後期はやらないのか。また、初めての人を対象としているのか。

(副館長) 前期計画のときに陶芸講師と協議して前期の開催回数を増やし期間を長くすることに決めたため、後期講座は計画していない。始めての人を対象としている。

(委員) 今回初めて行うフェスティバルは、販売コーナーや発表会などありとてもいい計画と思う。

(副館長) フェスティバルの目的は、作品づくりのサークルのみだけでなく、他にも活動している皆さんの活力の場にしたいこと及び館を知らない市民の方もいるため、館の存在を宣伝したいと考えている。

その他

(館長) 今年耐震工事が中央公民館と勤労青少年ホームに入ること、また新型インフルエンザの流行により閉館する場合がありますのでご承知願いたい。